

## 全社を挙げて5S徹底！ 経営の見える化でマネジメント力を強化

### 扶桑工業

建設機械や産業機械に用いられる油圧部品の製造を手がける扶桑工業(滋賀県長浜市)は、2011年から全社を挙げて“見える経営”VM(Visual Management)活動に取り組んでいる。トップダウンで5Sの徹底と情報の見える化を推進。マネジメント力が飛躍的に向上し、新規顧客の獲得や品質向上など大きな成果を上げている。現在は、5Sの維持と継続のために新たな取組みを展開。5Sのさらなる進化を目指す。吉本直行代表取締役社長、VM統括委員長の高橋善孝専務取締役、中川正新庄工場長、VM事務局の八田尚浩品質・技術部長に、VM活動の取組みについて聞いた。

#### 会社概要

会社名：扶桑工業(株)  
所在地：〒526-0043 滋賀県長浜市大茂亥町730  
創業：1962年  
従業員数：324人  
事業内容：自動車部品(カーコンプレッサー部品)、建設機械部品(油圧ポンプ、油圧バルブ、足回り部品)、産業機械部品(油圧部品、真空ポンプ)、農業機械部品(ディーゼルエンジン部品)の製造



前列左から八田尚浩品質・技術部長、吉本直行代表取締役社長、高橋善孝専務取締役、中川正新庄工場長。後列は新庄工場のVM推進メンバー

—VMとは具体的にどのようなマネジメント手法ですか。また、VMを始めたきっかけとは。

**吉本** VM(Visual Management)とは、中部産業連盟(中産連)が発案したマネジメント手法で、モノ、業務、管理の見える化による“目で見る経営”を提唱しています。われわれのような下請け企業は競争に打ち勝ち、顧客に可愛がられなければ生き残っていくことはできません。そのための競争力をつけるための仕掛けが必要です。そうした次の一手を模索していた頃、VMを導入していた工場を見学しました。深く感銘し、当社も導入

することを決意。2011年から「5S徹底! 人は変身! 会社は革新!」をスローガンに本社長浜工場、近江工場、新庄工場のすべての拠点でVM活動を始めました。

**八田** VMの特徴は、各部門で事業目標、計画、実行、結果を「VMボード」という生産管理表に一覧表示し、改善状況を見える化することです。このVMボードを全部門に掲示し、管理を徹底します。

**高橋** VMを始める前は、1999年から「TO・MA・TO活動」と称した改善活動に取り組んでいました。これは、